



美しいハーモニーを響かせる出演者

復興を祈りコンサートを開催

いなわしろ復興祈念コンサート 2018

「いなわしろ復興祈念コンサート 2018」は3月17日、学びいなどで開かれました。実践学園中学・高校合唱部(東京都)と東中学校合唱部、合唱団みやこによる「IMS ユースクワイア」が見事な合唱を披露。猪苗代吹奏楽団や猪苗代中、猪苗代高校、中野坂上ウインドオーケストラなどの有志による「IMS ウインドオーケストラ」が「また君に恋してる」などを心を込めて演奏しました。

身近な思い出を絵手紙に込め

思い出の絵手紙作品展を開催

「思い出の絵手紙作品展」は3月12日から21日まで、和みいなどで開かれました。町青少年健全育成町民会議が主催し、町内の小中学生や一般からの応募作品160点が展示されました。

絵手紙には、2017年の記憶や思い出をテーマに、マラソン大会や修学旅行、学校行事などの身近な出来事が描かれています。会場を訪れた来場者は、出品者の思い出と共に色鮮やかに描かれた絵手紙に興味深く鑑賞していました。



思い出の詰まった絵手紙が展示された作品展



活発な意見交換を行うパネルディスカッション

交流人口増加に向けて

第2回いなラボフォーラム

第2回いなラボフォーラム「外(そと)から“みる”猪苗代」は3月17日、道の駅猪苗代で開かれ、約50人が参加しました。NPO法人猪苗代研究所が主催しました。フォーラムでは、則藤孝志福島大学准教授による講演や、福島大学の学生による発表、町外からの移住者をパネリストに招いたパネルディスカッションが行われました。参加者は、町の魅力発信と交流人口増加に向けて活発な意見交換を行いました。

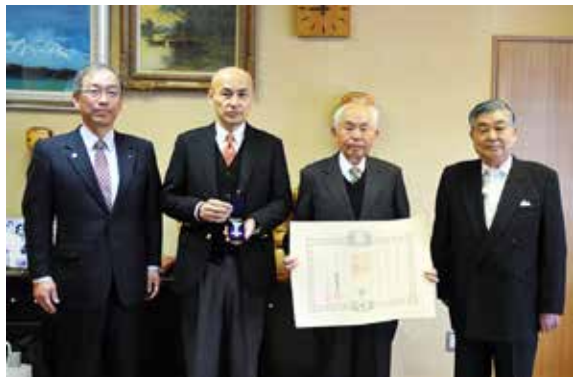
勝利目指して力を合わせる

「スノードリーム 2018」猪苗代綱引大会

「スノードリーム 2018」猪苗代綱引大会は3月4日、カメリーナで開かれました。町内外から13チームが参加し、一般やジュニアなど4部門で熱戦を繰り広げました。主な成績は次のとおりです。【一般男子】①さばらっ子お助け隊A②アクアクルー【一般女子】①若宮会女子【一般男女混合】①若宮会②さばらっ子お助け隊B③共同生活事業所いなわしろ【ジュニア】①チビタンスピリッツ②湯川男子ファイターズ③湯川男子イーグルス



競技に臨む「猪苗代スポ少チーム nana」のメンバー



瑞宝双光章の伝達を受けた佐藤さん(右から2人目)

佐藤修一さんに栄典伝達

瑞宝双光章叙勲伝達式

佐藤修一さん(金曲)への高齢者叙勲伝達式は3月23日、町役場で行われ、戸田光昭県会津振興局長が佐藤さんに瑞宝双光章の勲記と勲章を手渡しました。佐藤さんは昭和32年から30年にわたり町職員として勤務。退職後は、収入役と助役を歴任し、培ってきた豊富な経験を生かし、町政の発展に尽力されました。

佐藤さんは「受章は町民の皆さんのおかげです。今後も微力ながら地域発展に尽力したいです」と謝辞を述べました。

春を告げる伝統の舞

西久保彼岸獅子

春の訪れを告げる町指定重要無形民族文化財「西久保彼岸獅子」は3月21日、西久保公民館で披露されました。太夫獅子、雄獅子、雌獅子の3体が笛や太鼓のお囃子に合わせて勇壮な舞を披露し、会場を訪れた観客を魅了しました。

西久保彼岸獅子は、住民の無病息災などを祈って奉納され、100年以上の歴史を持っています。現在は、西久保彼岸獅子保存会が春彼岸の中日に伝統の舞を披露しています。



勇壮な舞を披露する西久保彼岸獅子



山田署長から感謝状を受ける吉村さん夫妻

人命救助に感謝状贈呈

吉村さん夫妻、渡部さんに感謝状

猪苗代消防署長感謝状贈呈式は3月9日、猪苗代消防署で行われ、山田善久署長が吉村景さん睦さん夫妻(天鏡台温泉)、渡部清人さん(長坂)に署長感謝状を贈りました。吉村さん夫妻と渡部さんは2月25日、町内長田地内で落雪により雪に埋もれた男性を発見し、除雪を行うなど救出に協力しました。山田署長は「3人の迅速な行動により要救助者を救助することができました。ご協力に感謝します」と話しました。

大震災犠牲者の冥福を祈り

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要は3月11日、亀ヶ城跡の鐘楼堂で執り行われ、東日本大震災の犠牲者を弔うとともに震災からの復興と原発事故の収束を祈願しました。

法要には長照寺住職で町仏教会会長の楠俊道住職をはじめ、町内の各寺の住職や檀家代表ら約50人が参列しました。僧侶らによる読経の後、参列者は御詠歌を歌い、東日本大震災の犠牲者の冥福と震災からの復興を祈りながら鐘を打ち鳴らしました。



犠牲者の冥福を祈り鐘を突く参列者